

被爆80年記念事業
国連軍縮週間行事

「市民のつどい」

屋内イベント



主 催：公益財団法人長崎平和推進協会

開催日：令和7年 **10月25日(土)**

会 場：長崎原爆資料館 平和学習室 **参|加|無|料**

ながさきピース
文化祭2025



平和の文化



「チンドン屋さん」の紙芝居を通して
伝え広める長崎原爆と平和

時間／ 12時40分～13時10分
チンドン平和紙芝居 かわち家



対象：小学校低学年から大人まで
『チンドンの音が長崎のまちから
消えた チンドンひまわり一座
物語』

出演：かわち家(河内 隆太郎)

◆かわち家・河内 隆太郎(かわち りゅうたろう)

《プロフィール》

2000年、長崎にて開業。
チンドン屋、祝い餅つき芸、
紙芝居という昭和風情を
生き生きと令和に輝くモ
ノに！と、活動中。

2022年から、ライター・
脚本家の小川内清孝氏、
漫画家のマルモトイツミ
氏とのコラボ作品、平和
紙芝居「チンドンひまわり
一座物語」を上演している。



あの悲しみの夏の日から50年
いま、あなたへ伝えておきたいこと

時間／ 13時15分～14時00分
平和朗読 平和な未来を紡ぐ会

対象：小学校高学年から
大人まで

『祖母・手島早苗からの手紙』

出演：朗読 前田 真里

音楽 三浦 蓮月



前田 真里



三浦 蓮月

◆前田 真里(まえだ まり)

《プロフィール》

アナウンサー、Peace by Peace NAGASAKI 代表 <https://peaceby.org/>
長崎市在住。NCCを退社後、フリーに。現在、TVやラジオの番組に
レギュラー出演中。2012～2016年NY在住。2018年～親子記者事業
の編集ボランティア。2020年、長崎県立大学大学院卒業。ライフワーク
として「平和」について考える場づくりを長崎の学校、公民館、公園など
で行う。2025年夏、『小学生記者がナガサキを記事にする』(くもん
出版)出版。

◆三浦 蓮月(みうら れんか)

《プロフィール》

長崎市在住。私立活水高等学校音楽コース卒業。現在、活水女子
大学音楽学部在籍中。ピアノを宮坂純子、石本玲子、本山乃弘、
保坂奈月各氏に師事。第49回長崎県新人演奏会特別賞。第21回
大阪国際音楽コンクールエスポール賞。第23・25・26回ピアノ
ピアノコンクール全国大会第1位。第43・45・46回ピティナピアノ
コンペティション全国大会出場、第46回では3位に入賞。他受賞歴
多数。他多くの演奏会に出演。

主催・お問い合わせ先：公益財団法人長崎平和推進協会 Tel 095-844-9922

Mail info@peace-wing-n.or.jp

※屋外イベントは、10時30分～12時30分、長崎原爆資料館前階段下広場にて開催します。





『チンドンの音が長崎のまちから消えた チンドンひまわり一座物語』

《あらすじ》

昭和15年頃、長崎市内にチンドンひまわり一座を営む勝男と照子夫婦がいました。でも、長男の栄治は同級生に両親の仕事をからかわれ、チンドン屋がきらいでした。やがて太平洋戦争が始まると、ひまわり一座は営業を禁止、昭和20年8月9日には原爆が投下され、勝男一家も被害に遭います。被爆の夜、避難した防空壕で負傷者を懸命に看護する勝男と照子。その片隅には、そんな両親を熱いまなざしで見つめる栄治と妹の花子の姿がありました。

演じ手：**かわち家**（河内 隆太郎）

発案者：**高比良 則安**

（国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・前館長）

作：**小川内 清孝**

（フリーライター・エディター・脚本家）

絵：**マルモトイズミ**

（漫画家・イラストレーター）

『祖母・手島早苗からの手紙』

《あらすじ》

「祖母の被爆体験を記録に残したい」と孫娘から懇願された手島早苗は、孫娘宛に一通の手紙を書きます。その手紙には、20年前の夏の長崎に起きた悲慘なできごとと、早苗自身の体験が赤裸々に綴られていました。手紙の後半には、職場の同僚の男性との束の間の交流や意外な事実が明かされていきます。もしあの戦争がなければ、もし原爆投下がなければ、私にもまた違った人生が……。

朗 読：**前田 真里**

（フリーアナウンサー）

音 楽：**三浦 蓮月**（ピアニスト）

脚本・演出：**小川内 清孝**

（フリーライター・エディター・脚本家）

作 画：**マルモトイズミ**

（漫画家・イラストレーター）

